

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンケン電気株式会社ものづくり開発センター	階数	地上5F
建設地	埼玉県新座市北野3丁目121-5	構造	SRC造
用途地域	準工業地域、防火指定なし	平均居住人員	450人
地域区分	5地域	年間使用時間	8時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2021年3月 竣工	評価の実施日	2021年2月5日
敷地面積	20,393 m ²	作成者	奥原 健吾
建築面積	8,940 m ²	確認日	2021年2月15日
延床面積	8,876 m ²	確認者	舟橋 慎一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境に配慮した快適な空間の実現 必要な天井高さ、階高を確保し更新やメンテナンスに考慮した計画	その他 特になし
Q1 室内環境	ライトシェルフによる日射熱遮蔽、ハイサイドライトによる自然採光、屋光センサーの採用 F☆☆☆☆を全面採用 外気は屋上から取入れ、排気口とは異なる方位を確保す	Q3 室外環境(敷地内) 生物資源の保存と復元を実施、外構緑化指数が25%を確保 敷地周囲に背の低い生け垣を設けて防犯性・防炎性に配慮
LR1 エネルギー	[BPI]/[BPI _m] = 0.93 [BEI]/[BEI _m] = 0.69 ライトシェルフによる自然エネルギーの直接利用	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率79% 大気汚染の要因となる燃焼機器の使用なし
	Q2 サービス性能 階高4.0m、天井高2.7mを確保した建築計画 リフレッシュスペースの確保 空調ダクト、給排水配管は更新寿命の長い材料を使用	
	LR2 資源・マテリアル 節水器具・擬音装置の採用による水資源保護	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される